（別紙様式16）

※Microsoft Formsで回答できない場合

※附属学校等に勤務している方は、回答不要

情報交流に関する提出資料

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 中学校  外国語 |  | 都道府県・指定都市名  （附属校等の場合は学校名） |  | 県市番号  （附属校等の場合は学校コードの先頭５桁を記入） |  |
| 担当者名 |  | | |

記載例）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 小・国語 |  | 都道府県・指定都市名  （附属校等の場合は学校名） | 埼玉県 | 県市番号  （附属校等の場合は学校コードの先頭５桁を記入） | 11 |
| 担当者名 | 文科　太郎 | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 小中・総則 |  | 都道府県・指定都市名  （附属校等の場合は学校名） | 東京学芸大学附属竹早中 | 県市番号  （附属校等の場合は学校コードの先頭５桁を記入） | C1131 |
| 担当者名 | 文科　花子 | | |

（以下、赤字箇所およびオレンジ枠の例等は、削除して提出してください。）

※協議題ごとに一つのpdfファイル（例：小学校国語部会の協議①で一つのpdfファイル，小学校国語部会の協議②で一つのpdfファイル等）にして提出してください。

※本資料（情報交流用提出資料）は、協議題とは別にpdf化し，提出してください。

【】について，以下の例に倣い，必ず記入すること。附属学校等は学校コードをアルファベットを含めた先頭５桁まで記入すること。なお，２ページ以上になる場合には，各ページに記載し，【部会名】の後ろに通しのページ番号を振ること。（全３ページ中の１ページ目の場合：１/３）

例）【01】【北海道】【小・国語】１/３

　　【C1131】【東京学芸大学附属竹早中】【小中・総則】１/２

＜情報交流＞

「中学校外国語教育の充実に向けて実施している研修等について」

１．令和６年度、「中学校外国語教育」に関する研修の**回数**

【回答の際の留意点】  
・都道府県、指定都市教育委員会が実施している、悉皆・希望研修等のうち、「中学校外国　語教育」に関する研修の合計を答えてください。該当部分に☑を入れてください。  
・６回以上の場合は、（　　）に数字を記入してください。

　□１回

　□２回

　□３回

　□４回

　□５回

　□（　　）回

２．令和６年度、「中学校外国語教育」に関する研修の**内容**

【回答の際の留意点】

・都道府県、指定都市教育委員会が実施している、悉皆・希望研修等のうち、「中学校外国語教育」に関する研修の内容を全て答えてください。該当部分に☑を入れてください。

・選択肢にない場合は、その他のところに全て記入してください。

□学習指導要領の理解に関すること

□４技能５領域の育成に関する指導方法に関すること

□指導と評価の一体化に関すること（パフォーマンステストを含む）

□ALTとのティーム・ティーチングに関すること

□ICT（デジタル教科書、AI等を含む）の活用に関すること

□校種間連携に関すること

□教員の英語力向上に関すること（外部検定試験補助あり）

□教員の英語力向上に関すること（外部検定試験補助なし）

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３．一定の英語力等を有する中学校教師の**新規採用に係る取組**

【回答の際の留意点】

・該当するものを全て答えてください。該当部分に☑を入れてください。  
・選択肢にない場合は、その他のところに全て記入してください。

□CEFR B2レベル相当の英語力を有する者への加点

□CEFR C1レベル相当の英語力を有する者への加点

□教員養成系学部を有する大学等との連携強化

□特になし

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

４．令和６年度、「中学校外国語教育」に関する研修の**工夫**  
【回答の際の留意点】

・受講者が、研修で学んだことを実際の指導に生かすために、工夫していることを教えてください。

・特に工夫している点がない場合は、「特になし」と記載してください。